

BPT (バイオマスプロジェクトチーム) だより No.14

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成 17 年 12 月 8 日 (木)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況 等

- 木質バイオマス利活用実用化促進事業
通算 5 回目となる共同研究会議を実施しました。(11 月 22 日)
 - ・炭化試験業務実績の報告：ウッドリサイクル協同組合
 - ・炭化プロセスの評価、木炭特性の分析評価素案：千葉大学
 - ・用途開発試験：千葉大学、県関係機関
等について報告、意見交換を実施しています。

2. 国・大学・市町村等との連携

- 山武町バイオマスタウン構想の公表
山武町バイオマスタウン構想が、国から公表されました。千葉県から初めてのバイオマスタウン構想となります。(11 月 30 日)
「バイオマスと共に暮らし、バイオマスと共に栄える『さんぶ』」を基本理念に、木質バイオマスや食品廃棄物等のエネルギー利用、堆肥や土壌改良材への利用を推進し、有機農業や森林セラピーと結びつけ、バランスのとれた持続性のあるバイオマス資源の流れの環を形成していくことを目指しています。
- ライフサイクルアセスメント(LCA)研究センター国際ワークショップ
「LCA手法の地域施策への展開」
(独)産業技術総合研究所LCA研究センターの主催する国際ワークショップに参加し、千葉県のバイオマス利活用への取組み等について発表を行いました。(11 月 30 日)
LCAとは、製品の原料の採取、加工、流通、再資源化などの全ての過程において環境影響を計測し、評価する手法として注目されています。
現在、産総研LCAセンターでは、千葉県をフィールドとしてバイオマスの利活用に関するLCA手法の研究開発を行っており、県も協力しているところです。

3. 普及啓発活動・その他

- シンポジウム関連
千葉県が主催し、県民・NPO・企業・市町村を対象としたシンポジウムを千葉市内で開催しました。(11 月 21 日)
当日は 131 名の参加者が集まり、アンケートを実施したところ、基調講演、事例紹

介ともに分かりやすく参考となったといった意見が多数寄せられました。

基調講演：バイオマスのエネルギー利用推進を目指した技術開発の現状と将来の展望

産業技術総合研究所・産学官連携推進部門コーディネーター兼バイオマス研究センター主席研究員の小木様より、バイオマスエネルギー技術開発の現状と将来展望についての全般的な総括、バイオマスエネルギー変換技術として燃焼発電、ガス化発電、液体燃料製造の説明や小型噴流床ガス化装置等の紹介。



事例紹介1：“循環都市よこすか”をめざして

横須賀市環境部循環都市推進課主任山野井様より、横須賀市で実施されている生ごみバイオガス化実証試験について、取り組みにいたる経緯、実証試験プラント設備内容、経済性や環境負荷の評価についての事例紹介。

事例紹介2：バイオマス高効率エネルギー転換（ガス化）

新日本製鐵株式会社技術開発本部・プロセス研究開発センター部長の殿村様より、噴流床ガス化技術と各種バイオマス資源（木質、食品、汚泥等）を原料とした場合のガス化プロセスについての事例紹介。

事例紹介3：木質系バイオマスからのエタノール製造技術

月島機械株式会社バイオ事業推進部グループリーダーの佐藤様より、木質系バイオマスからのエタノール製造方法、廃建材からのエタノール生産技術、千葉県市川市にあるパイロット設備での実証試験についての事例紹介。

○ バイオマス普及啓発活動

- ・ 農林水産環境展への出展（幕張メッセ：11月29日～12月2日）
- ・ ふるさと房総定期市への出展（カレスト幕張：12月3日）



千葉テレビ 県広報番組のお知らせ

千葉県の施策を紹介する「躍動ちば21」でバイオマスプロジェクトチームの取り組みを紹介します。

日 時： 12月16日（金） 22時00分～22時15分

内 容： 山田バイオマスプラント開所式
ふるさと房総定期市（バイオマスプラスチック）
バイオマス利活用推進シンポジウム